

平成15年度 八木山まちづくり協議会『新旧合同連絡会』

ネットワーク八木山

議 案 書

八木山まちづくり協議会は、本会の目的である「明るく豊かで健康な又、優しくうるおいのあるまちづくり」のため今年一年、14年度活動方針に則り進めてきました。わが町八木山も成熟した町として成長してまいりました。それに伴い校区の会員の年齢構成、家族構成等が大きく変化し、わが町八木山にも少子高齢化の大きな波が押し寄せてきております。世帯の中心が60歳代を迎える昨今、その活動内容、行事内容および実施方法にも時代に即した新たな取り組みが今年度は求められました。活動方針では、改革2年目の今年度、発足当初の原点に戻り徹底的な諸行事の見直しを行い「我々が目指す、あるいは目指した故郷」は何であったのか、今の「故郷」はどのようなか、まちづくり協議会がそれによつてかかわつてゆくのかを真剣に考え、役員も一般会員も気軽に参加できる行事内容、周辺地域の自然環境保全、少子高齢化に対する福祉政策等を中心テーマに据え、長続きする負担の少ない地道な活動を推進する事が望まれました。

今年度は以上の点を踏まえ、八木山まちづくり協議会の目的及び、加盟各団体の活動目的遂行のために諸行事を実施



君子蘭

し、さらには各団体間の情報交換、日程調整及び、協力しあうための協議を実施しました。4大行事のうち、市民運動会は「八木山健康ウォーク2002」として新たな形での取り組み、他の行事は、ほぼ活動方針通り実施しました。又新たな試みとして、八木山の自然環境保全についての取り組み、八木山ホームページの立ち上げを行いました。

「健康ウォーク」では市民運動会とは違った層の参加が有り、反省会では次回へ向けた建設的な意見が多くありました。また、行事の見直し、役割分担の見直し、専任事務局員の充実により、役員負担軽減が行われました。その中で「15の加盟団体がお互いに協力し助け合つて会を運営することの重要性」、「まちをつくり、維持発展させるためには相応の負担が必要」、「役員負担軽減だけに目を奪われ、行事の持つ本来の目的を見失つてはならない」などの意見が出され検討されました。今後、思い切った改革を行い、活力あるまちづくりを実践することが求められます。

事務局体制は専任事務局員が増員され、各行事もプロジェクトチームによって円滑に運営されました。専任事務局員を充実し、各団体と事務局との密接な連携を図りながら会を運営していくことが重要とす。

以下、1年間の活動報告を行います。

【1】協議会会議等

連絡協議会8回、事務局会議12回、運動会実行会議1回、行事準備日3回を数えました。その他プロジェクト会議数回、専任事務局会議数回を実施しました。

【2】四大行事

1、市民清掃 夏 7月7日(日)

秋 11月3日(日)

「自分たちの町は自分たちの手で綺麗にしよう」との思いで始まったこの市民清掃、今年も夏・秋ともに、早朝より多くの皆さんの協力を得て実施することが出来ました。

夏は、小雨模様の生憎な天候にも拘わらず中学生・学生諸氏の奮闘に加え、各町内よりの役員・住民の皆さんの協力を得て、又秋は、夏に加え特に公園清掃には小学生高学年の子どもたちの参加も得て実施することが出来ました。

新たな試みとしての「公園清掃への子どもたちの参加」は、一部調整不足があったものの「松田中央公園・つつじ中央公園西広場」に20数名の子連が参加してくれたことは喜ばしいことであつたと思っております。

この市民清掃(大安寺川の清掃は別として)、初めは文字通り「我が町を綺麗に」との思いのもと「各町内の(法面)清掃」として

、町自治会主導のもと行われてきたものでありますが、まちづくり協議会が組織された後は、これらの清掃とは別に「町のシンボリックな箇所も綺麗に」との位置付けから、現在の清掃箇所を定め取り組んでまいりました。

ここに来て一部学校法面の清掃を行政との声も聞かれますが、一方では小学校児童による『やぎやまキッズ会議(マイタウン・プロジェクト)』の取り組みによる「八木山を守ろう」との子どもたちの声も育んでいかなければと考えています。

何れにしても、私たちの町がいつまでも綺麗にとの願い、のもと、今後ともこの市民清掃を実施して行くべきと思っております。



コキヤナギ

2、夏祭りの

8月24日(土)・25日(日)

スポーツエスタ(24日(土) 午前) 曇りの空であまり暑くもなく、ちよつどいいコンディションの中、体育振興会の共催で「グラウンドゴルフ」を実施しました。参加者は50名位でしたが、グラウンドには終始人がいっぱいいて、年配の人が小さい子どもたちに親切に教える姿が見られるなど、和やかな雰囲気でした。

グラウンドゴルフの競技方法や、競技時間を考えると50人程の参加者は適当な人数だと思われませんが、自分の体力に合わせて競技できることや、内容を工夫することによって高齢化時代にマッチしたスポーツとして、今後の参加者増を期待しております。

映画会(8月24日(土) 夜)

今年は途中からの天候の変化を考慮して体育館で実施しました。暑さが心配されましたが、適当に風も入り思つたほどでもなかったのですが、夜風を受けて、夜空を見ながら野外で観るおもむきもあじわいたかつたとの声も聞かれました。上映映画は「いのちのあさがお」・「忍玉乱太郎」で、来場者約200名余の人たちが夏の夜のひと時を親子で楽しみました。

みこしつくりと練り歩き

(8月25日(日))

7月下旬から8月にかけて、各子ども会と町内の大人の人連が協力し子供みこしを中心に製作されました。各町内の練り歩きは自治会役員ほかの協力の中、汗をかきながら楽しみました。きつと夏の良い思い出になったこととしよう。

製作・練り歩きとも従来の方法で実施しまし

たが、練り歩きは各町内によって、大人の参加者にバラツキが見られたようです。今後も継続し、子供および幅広い層の参加を広げてゆくためには、いかにして自治会との協力をより深めていくかが、課題となりそうです。

炎の祭典(8月25日(日) 夜)

25日午後5時より手作り子供みこし11台、つつじが丘有志による大人みこし4台の参加がありました。各みこしにはそれぞれにふさわしい賞が与えられました。

今年はトーチランナーのコースを、鶴沼中学校の正門からスタートするコースのみとしました。また、経費削減にも取り組み、従来リヤ自動車のライトで代用しました。が、充分な明かりが採れず、後片付けの時暗くて作業がやりにくい部分もあり改善の必要を感じました。

少子高齢化により関係者の負担はありますが、子供たちが楽しんでいるのを見ると「やってよかった」との声も多くあり、「夏まつり」は、「子供たちが楽しむ行事」であるという位置付けをはっきりさせ、取り組んでいくことが必要としよう。

実施時期については「お盆」の頃に、盆踊りといつしまにやつたらどうかという声も聞かれますが、各団体の意見を集約しますと、まだ足並みがそろわずもつ少し時間が必要で、実施に向けては時期尚早という声が大半を占め、今年は例年どおり実施しました。

3、市民運動会 10月6日(日)

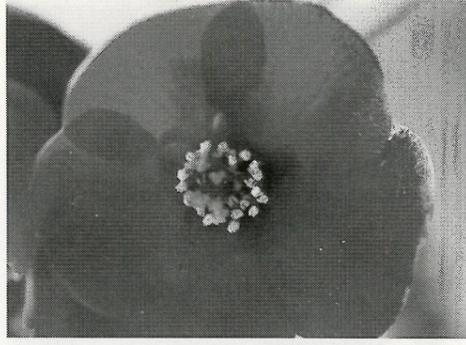
少子高齢化が進み、住民一人ひとりが強制されることなく、参加したい人が自由に集まり、楽しめるものが求められています。その中で、今年の運動会は従来の形式を改め、新たな取り組みとして「ウォーキング」を実施しました。

当日は約500名余の人連の参加があり、「健康コース」・「ファミリーコース」に分かれ途中雨によるハプニングもありましたが、参加者それぞれが楽しんでいました。

初めての試みで、運営面や実施面で課題も残りましたが、役員・動員数は従来の約1/3に減らすことができました。一部に従来の運動会のほうがいいという意見もありましたが、参加者からは「今までの運動会に比べて、全年代の人が平等に参加できていい」・「来年もやってほしい」・「もつとコースを増やしてほしい」という前向きな意見や要望も頂戴しました。今後は、参加者の意見を反映し、反省点を生かした運営をすれば、より住民の皆さんが参加しやすく、また楽しんでもらえる行事となるのではないのでしょうか。

4、新春の集い 1月12日(日)

当日の好天を祈りながら、年を経ての作業に取り組んできた役員ほか関係者の熱意の賜が、例年にない天候に恵まれ、子どもたちを含め多くの人連の参加を得て、今年も盛大に



木瓜(ボケ)の花

実施することが出来ました。

開会式では、小学校の6年生が中心になって取り組んでいる「八木山キッズ会議(マイタウンプロジェクト)」の紹介があり、「八木山・愛宕山」に対する子どもたちの、熱い思い、が発表され、我々大人達も、思わぬ?ところで、八木山への思い、を新たに与えられた感じがします。

そんな中、今年も子どもたちが「自己紹介コーナー」で参加の目当てを発表し、大人達の挨拶の後、和やかな雰囲気のもと、体育振興会を先頭に、500名余の人連が元気に山に出発していきました。

昨年提起された、子ども会育成者の「引率負担の軽減」を図るため、例年各コース2名での引率を、今年は各々5名のサポーターを配し実施しました。

グラウンドでは「松6・7丁目」の田が割れるハプニングの他は、例年通り?順調に餅つきが行われ、山から帰ってきた人連を迎え、1000人を超える若男女が、楽しい一時を過ごすことが出来ました。

遊びコーナーでは、サッカー・野球・子ども劇場に加え、今年は剣道の参加もあり又、エネルギーハウスによる特別コーナーも出展して頂きました。

クロスカントリーでは、出発時、東・西コースがクロスして煩わしかったとか、八木山・愛宕山縦走中でのすれ違い時に、山道幅が狭く混乱したなど、又グラウンドでは、抽選会が少々混乱し時間を要したとか、閉会式がなくだらだらと終わってしまった感があるなど一部に改善の声が聞かれた他、餅つき途中の火事のサイレン、一瞬緊張感が走りましたが本行事とは関係が無く、役員一回ほか、ホッとした一幕もあり、今後は万が一の「危機管理」についても一考しておく必要性があるなど、来年に向けての反省もありました。

今年の「新春の集い、色々なことがあつたと思ひますが「大人達のふれあつた姿」を見て子どもたちが、また「子どもたちの歓声・笑顔」に接して大人達が、新たな年のエネルギーを醸し出し培つたものと信じています。大勢の人連に支えられこの新年の「ふれあい」行事が、今後とも永く継続されることを願っております。

裏面に続く

平成15年度社会福祉協議会八木山連合支部 新・旧理事及び評議員の合同会議

日時：平成15年4月13日(日) 午前11時～12時

場所：つじが丘ふれあいセンター

ネットワーク八木山

発行責任者 八木山 まちづくり協議会
 編集 社協八木山連合支部
 印刷 松が丘地区自治会
 つじが丘近隣一自協
 編集 事務局広報担当

総会
特集号

- 1 0 9 8 7
 1 平成14年度事業報告
 1 全 般
 2 地域福祉活動の環境づくりについて
 3 1 社協八木山連合支部活動のPRと活動報告
 2 支部長挨拶
 3 来賓挨拶(市社協関係者)
 4 議長紹介(会則 第13条により第一副支部長が議長を務める。)
 5 議長登壇
 6 議 案
 議 長
 ① 平成13年度事業報告および決算報告 金子 福祉推進員
 ② 平成13年度会計監査報告 前田 監事
 ③ 平成14年度活動方針(案)および予算(案) 金子 福祉推進員
 ④ 平成14年度新役員、理事改選・承認 議長
 7 議長登壇
 8 新役員紹介
 9 支部長挨拶
 0 閉会の辞

社協八木山連合支部の活動目的は、八木山地域に適した福祉活動を行い、地域ぐるみで明るく住みよいまちづくりに努力して行くこと、社協八木山連合支部は、常に住民の連帯の必要性をいっしょに考えてきました。そして幅広い福祉の考えに立って住民の福祉に対する関心度を高めて行くための地道な活動を継続して来ました。急激に目先の結果を求めるとはならず、長期的視野にたつて、無理せず、急がず、着実に、福祉の考え方を住民に理解してもらえようことを目標に活動して参りました。以下一年間の活動経過について報告致します。細部は、別紙「年間活動実績表」を参照してください。

地域福祉の基本は地域住民の連帯です。連帯を保ち助けあつて生きて行くことが必要であります。このことは、対人福祉サービス展開の場を地域社会に求めて行くこととしてあり、住民参加による福祉コミュニティ(援助を必要とする人達の生活し自立が可能な地域社会)の創造です。この場合、福祉的な物的サービスを整備するだけでなく、それに参加するよう意識や態度の形勢が最も大切なことです。そのためには、日頃の近所付き合いや近隣の人達との交流が重要ですが、そのきっかけになる人々の出会いの場と機会を作ることが大切です。住民全体を対象として幅広く人々がふれあえるような環境づくりを目指した活動は、八木山まちづくり協議会が4大行事等を通じて続けてきており、社協八木山連合支部も共催のかたちで「ふれあい事業」として実施しております。又、一方で「近隣ケア・ボランティア・グループ」や「ボランティアハウス いこいのつつし」、「情報弱者向けパソコン教室・松が丘PCクラブ」等が地域の中の高齢者とのふれあい交流会などの諸活動を続けて来ています。このような活動に対しても八木山連合支部として種々のバックアップを行って参りました。

3 広報活動について
 機関紙「ネットワーク八木山」は、①社協八木山連合支部活動のPRと活動報告の目的を持って発行しております。また、八木山まちづくり連絡協議会のホームページの中にも社協八木山連合支部の活動報告が掲載されておりますので覗いて見て下さい。今年度は、八木山まちづくり連絡協議会の協力を得て5回発行できました。

4 社協八木山連合支部の活動資金について
 当支部の活動資金は、会員の皆様から集められた会費実績額の40%に当たる支部交付金が主体です。
 ① 前年度活動方針として示したとおり、未入会世帯への加入促進と特別会員への変更加入の努力をいたしました。成果を平成13年度と比較してみると、次のとおりです。

加入率	平成13年度	91.9%
	平成14年度	92.0%
(八木山校区総世帯数)	1,808戸、	
市全体の加入率	83.4%	
特別会員	平成13年度	39戸
	平成14年度	39戸
会費実績額	平成13年度	851,500円
	平成14年度	853,000円
支部交付金額	平成13年度	341,000円
	平成14年度	341,000円

② 市社会福祉協議会からは、支部交付金他にメニュー事業助成金等の助成を受けました。今年度も「福祉映画会」、「ひとり暮らし老人(高齢者)を囲む会」、「機関紙の発行」等、また、先駆的事业として「情報弱者向けパソコン教室」、「歳末助け合い特別事業としての「地域福祉座談会」のメニュー事業に対して、費用の一部254,025円を助成してもらい活用させていただきました。

5 在宅福祉サービスの調査・研究・研修について
 高齢者に対する介護保険制度は軌道に乗って参りましたが、これにより保険・医療・福祉の各種サービスが一体的・効率的に提供され、高齢者やその家族がこの恩恵を受けていることと思っております。しかし、自宅で生活をする自立や支援レベルの高齢者、心身障害者等に対する在宅サービスはまだまだの感があります。このような方々のために地域住民による在宅支援活動が必要不可欠です。近隣ケア・ボランティア・グループや老人クラブのサークル活動等に対する当支部の金銭的助成は、具体的な支援活動の一つの表れております。これからも、お互いに勉強し理解し合い、より効果的な福祉活動の具現をめざして、今後も継続して参ります。

八木山登山道整備計画 についての回答

八木山登山道整備計画について
 日頃より、当市林野行政にご理解ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。
 平成14年8月12日付けで提言いただいた懸念については以下のように考えていますのでよろしくお願い致します。

平成14年度より3～5年間で岐阜県において八木山から天野山一帯を自然に配慮しながら周辺を土砂災害から守るための自然環境保全治山事業を展開しています。市では、貴協議会の提言を県の治山事業に反映するよう、県と連携を重んじて事業推進して参ります。

貴協議会の貴重な提言を尊重しながら森林整備して参りたいと考えてはおりますが、県治山事業実施期間内においては林内の市事業は補完的なものや緊急的なものを除き行いません。

今後、県治山事業の実施に関しては、市、地元関係者による治山事業推進協議会(仮称)を立ち上げお互いの意見を調整しながら実施して行くようなシステムづくりを考えて参ります。
 なお、八木山から礫石山に至る稜線の南側以外の区域については、森林所有者の同意や自治会の意見・要望に沿って事業実施して参ります。

具体的な提案についての考え方は以下のとおりです。事業実施については貴協議会と協議しつつ個々の事業を進めて参ります。(県の治山事業については治山事業推進協議会の中で協議します。)

- 提案
 1、登山道及び縦走コースの整備の基本条件
 (1) 整備対象登山道は3コースとする。
 県治山事業の範囲で整備を考えています。実施については治山事業推進協議会にて調整します。
 ①西コース：現況の道を利用し、県の治山事業区域内です。
 ②縦走コース：現況を利用、県の治山事業区域内です。
 ③東コース：登山口から山頂は現況を利用、県の治山です。事業区域内。山頂からパークウエーは事業計画は有りません。
 (2) 整備対象の登山道は幅員1mとし、登山道の両脇の枝伐採幅は各R50cmとする。
 幅員、管理の範囲は現況に於いて対処しなければならぬと考えています。
 整備に当たっては治山事業推進協議会で協議して参ります。

(3) 危険箇所として下記の箇所を整備対象とする。
 岩石の崩落、土砂の流出等の危険箇所が随所にみられるので、治山事業を実施することとなりました。
 ①コース上の危険箇所についても治山事業で考えていきたいと考えています。その場合は治山事業推進協議会で内容を協議して参ります。
 治山事業区域外については、貴協議会と市と協議して参りたいと考えています。

(4) コース案内の道標は統一し、自然にマッチした色彩デザインのものを設置する。
 自然にマッチし統一されたデザインがよいと考えられます。設置については現状の道標の扱いやデザインなど、貴協議会と協議して参ります。
 治山事業で設置できるものについては治山事業推進協議会で検討します。

(5) 通常ルート以外の登山道には、一般登山者や児童が迷い込まないよう注意看板を設置する。
 ルートの必要性などは貴協議会と調整して参ります。その中で不必要と認められる登山道は封鎖したほうが良いと考えています。封鎖方法として、治山事業範囲内においては森林整備を実施する場合は埋木などで封鎖するなど、治山事業推進協議会で協議して参ります。

(6) 東麓、ベンチ、ゴミ箱等の人口的な工作物は一切設置しない。
 基本的には設置しない方針であります。地域の要望などで、設置することになった場合には、景観に配慮しながら検討して参ります。

(8) コースの多様性
 事業計画はありません。
 (9) 展望案内板
 事業計画はありません。

2、八木山周辺ウォーキングコース
 事業計画はありません。(歩道のない箇所もありますが一部の道路整備は完了しています。)

3、枯木の伐採と埋木
 治山事業の計画の中に森林整備があり実施して参ります。

4、八木山裾野の整備
 治山事業推進協議会で協議して参ります。

5、メンテナンス
 (1) 経済基盤の構築
 貴協議会からの要望を受けながら、検討して参ります。
 (2) 維持管理組織
 ボランティアの組織化を期待します。

平成14年度 民生委員の活動

- 4月 自治会総会（松が丘 つじが丘）
 社協八木山支部総会
 まらごつりの協議会総会および役員会
 70歳以上の方調査 支所閲覧
 鵜沼中民生委員会協議会協議
 おむつ券配布
 松が丘 清木さん告別式
 5月 県内研修（池田町）
 町協賛合わせ会
 自治会顔合わせ会（松、つじ）
 八木山小評議委員会
 八木山小地区懇談会
 近隣クラブ協議（増田 近藤）
 近隣クラブ協議
 町協賛（増田 近藤）
 近隣クラブ協議
 松が丘近隣クラブ1丁目協議
 支部社協協議
 松が丘近隣クラブ1丁目協議
 日赤法人社協募集（集金）
 町協賛
 クラブプレゼント作りに協力
 中民協協議
 6月 支部社協協議
 松が丘近隣クラブ1丁目協議
 支部社協協議
 町協賛
 赤い羽根共同募金
 日赤独居支援（洗剤配布）
 八木山小 地域の人参観日
 町協賛
 障害部会研修（県健康センター）
 松が丘 塩沢さん告別式
 町協賛
 中民協協議
 中民協児童母子部 子供館行事参加協力
 おむつ券配布
 松が丘 荒木さん告別式
 1月 1月 赤い羽根共同募金
 日赤独居支援（洗剤配布）
 八木山小 地域の人参観日
 町協賛
 障害部会研修（県健康センター）
 松が丘 塩沢さん告別式
 町協賛
 中民協協議
 中民協児童母子部 子供館行事参加協力
 1月 町協賛
 障害部 さららび苑祭り参加協力）
 社会福祉大会（松近隣クラブ1丁目、松が丘近隣クラブ1丁目、松が丘近隣クラブ1丁目）
 12月 グループホームひだまり訪問
 中民協 障害部研修会（精神障害者への対応のしかた）
 八木山小へ新任挨拶（玉置さん、岡田さん）
 歳末助け合い 慰問金の配布
 1月 新春の集い（クロスカンストリー）
 中民協協議
 町内新年会
 松が丘 森さん 告別式
 松が丘 中村さん 告別式
 2月 新入民生委員研修会（岐阜）
 全民協 心配事相談（児童虐待について）
 中民協 心配事相談（児童虐待について）
 同和問題研究会
 町協賛
 松が丘 目服部さん 告別式
 全民協役員会
 中民協役員会
 八木山小評議委員会
 松が丘 近隣クラブ1丁目会
 その他
 つつじヶ丘の民生委員は、毎週金曜日に
 行われるボランティアハウス（憩いのつつじ）の協力、応援があります。また、各町内のクラブ員と高齢者の交流やお茶会、食事会にも出席いたします。
 松が丘それぞれ受け持ちの各町内のクラブ員との交流があります。
 鵜沼中学 校外補導委員（肥谷さん）は

毎月1回の巡回があります。
 2〜3月にかけては学童保育の証明、近隣クラブの登録作業等があります。
 近隣クラブに関する話は、各町内の自治会長さんにお世話をかけますがよろしくお願ひ致します



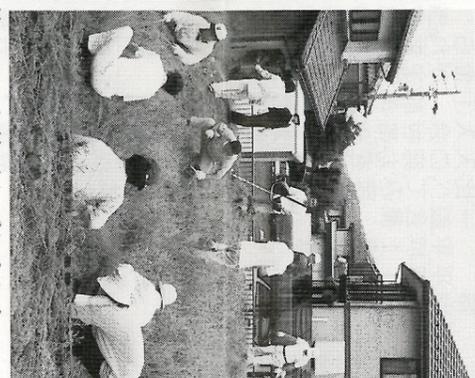
8/24 夏祭りスポーツフェスタ



8/25 夏祭り、沢山の思い出を作りました



7/14 ウォーキング下見



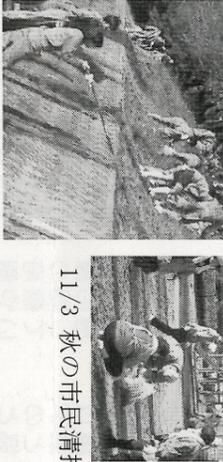
7/17 市民清掃の日は突然の雨でも皆がんばりました。



12/22 新春の集い準備作業



1/12 新春の集い



11/3 秋の市民清掃



八木山自然の会
 昭和58年八木山小学校及びPTAの役員、子ども会等の依頼を受け「八木山の自然を考える会」（八木山自然の会）が発足しました。
 足から20年がたち当時と環境も変化してきています。かまごつ一度私たちがその変化を認識し新たな取り組みをすすべき良い機会に恵まれました。
 一、一昨年来「八木山の自然保護と登山道整備計画の提言書」が八木山まらごつりの協議会の諮問委員会作成し市へ提出。
 二、県はこの八木山三山の治山工事を昨年から始めました。
 三、市は我々が提言した内容を検討し、県の治山事業の範囲内で登山道の整備等を私たちが協議して実施すると回答していただきました。（治山事業推進協議会への参加を要請）
 四、維持管理組織のボランティア組織の要請
 五、周辺地域には坂祝ハイパスの建設にも「ホルルの里」が移転を余儀なくさせられる事態になり、又、花木公園の建設等、自然がそのままの姿では維持できない。行政に全てを任せては、この素晴らしい自然が残っている八木山も観光地化してしまいます。

「八木山自然の会」会員募集
 「八木山自然の会」を次のような目的の会として活動を再開し、自然を考へ行動していきたく思います。
 1、八木山の自然を守り、育てよう。
 2、八木山の自然に学び、触れあい、楽しもう。
 3、八木山のまらごつりに自然をいかすよい提案をしよう。
 八木山の自然へのそれぞれの思いを抱いて集まり、話し合い、学びあい、また知られていない八木山、翠苔山の魅力を探索観察や探訪会を開き、時には汗を流し清掃や整備をしていきます。
 多くの皆様の参加によりまらごつりの協議会とも連携を諮り、発展させていきたいと思ひます。ご賛同の方々は左記日時にお集まり下さい。

第1回開催日
 日時 4月27日(日)
 午後7時〜9時
 場所 松が丘集会所
 学習室（又は集会所）